

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報

1 基本情報				担 当 課 健康課							
事 業 名	No.1		健康的な暮らしの実践促進								
事 業 区 分	継続	会 計 区 分	一般会計	予 算 費 目	款	4	項	1	目	2	
施 策 体 系	7	健康づくり・医療				戦 略 的 施 策	☐	行 政 改 革 大 綱		(1)	
根 拠 法 令 等								事 務 区 分			
事 業 期 間	☐ 単年度(年度) ☒ 単年度繰返(年度～継続) ☐ 複数年(年度～ 年度)										

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	からだの健康の増進やこころの健康の維持・向上に資する取組を行うことで、健康に関心を持つ人を増やし、すべての市民の健康寿命の延伸につなげる。				
事業概要 (全体計画)	(1)からだの健康の増進(第3期健康いこま21・第4期食育推進計画に基づき、課題に応じた取組を実施) (2)こころの健康の維持向上(自殺対策計画に基づき、課題に応じた取組を実施)				
	事業の対象		市民 (対象数: 全市民)		
決算年度の取組	取組計画		取組実績(見込)		
	(1)HPVワクチン予防接種業務 定期接種対象者及びキャッチアップ対象者への個別通知 (2)健康いこま21、生駒市食育推進計画のキックオフ講演会 132千円(謝礼20千円、印刷製本費102千円)の実施 (3)健康アプリ及び健康ポイントの検討 ・先進自治体の取組事例の調査および事業者ヒアリングの実施。関係課との協議・調整を通じた事業の方向性の整理 (4)上記事業概要に記載する継続事業 127,120千円		(1)HPVワクチン予防接種業務 定期接種対象者3,385人、キャッチアップ対象者(未完了者)519人勧奨通知を発送 (2)奈良県立医科大学の佐伯先生を招き、「睡眠」をテーマにキックオフ講演会を開催。また栄養相談会、骨密度測定会などキックオフイベントを同時開催。170人参加 132千円見込(謝礼:30千円、印刷製本費:102千円) (3)健康アプリ及び健康ポイントの検討 先進自治体(兵庫県三木市)へ視察を実施。関係課との調整を通じて、実施の方向性および課題の共有を実施。 (4)上記事業概要に記載する継続事業を実施した。99,888千円見込		
	事業実施手法		☒ 直接実施 ☒ 委託・指定管理 ☒ 負担金・補助金 ☐ その他 ()		

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	113,948	127,252	100,020	123,969
12委託料	94,189	103,452	80,572	100,749
14工事請負費	0	0	0	0
18負担金補助及び交付金	1,260	2,000	1,194	2,212
その他	18,499	21,800	18,254	21,008
財源(千円)	113,948	127,252	100,020	123,969
特定財源	4,788	6,231	6,091	8,200
市債	0	0	0	0
その他	18,250	22,006	17,563	20,343
一般財源	90,910	99,015	76,366	95,426

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)		睡眠に関する講演会及びキックオフイベントを実施し、参加者170名の内89.8%の人から「大変満足、満足」との評価を得た。これにより、参加者の健康意識の向上につながった。	
KPI	指標1		
指標名(単位)	がん検診受診率全住民比率(%)		
目標値	胃(バリウム)4.0 胃(内)2.9 肺4.4 大腸8.2 乳12.2 子宮13.7		
実績値	胃(バリウム)2.6 胃(内)1.8 肺3.7 大腸6.5 乳11.7 子宮13.2(令和7年度1月末の暫定値)		
目標値と実績値の差 分についての理由	令和7年度実績値は、暫定値であるため		
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
	B	国・補助金を活用し、R6年度から実施したがん検診受診券一斉発送事業を今年度も継続実施。検診受診率の向上の取組は、がんの重症化を防ぎ、早期発見・早期治療につながるため、将来的な医療費の削減効果が見込まれる	
目的思考 (施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由	
	B	からだの健康の増進の取組の基礎となる第3期健康いこま21と第4期生駒市食育推進計画では、健康寿命の延伸を目的に掲げ、総合計画との整合性を図っている。	
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由	
	B	講演会参加者にアンケートを実施し、「今後聞きたい講演会テーマ」などの意見を把握し、食育の分野では、生産者・小売店・流通業者等がアイデアを出し合い、取組を具体化する食育ラウンドテーブルを3回実施した。	
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由	
	B	市の公式LINE、学校保護者向け連絡システムすくぐるなどWEBを活用した広報を意識し、募集を行った。またスマートフォンやインターネット環境上で禁煙に取り組むことができるオンライン禁煙支援事業を実施した。	
総合評価	評価	評価した根拠・理由	
	B	KPI指標の目標値には達していないものの、からだの健康の増進やこころの健康の維持・向上に資する取組について、第3期健康いこま21・第4期食育推進計画、自殺対策計画に基づいて着実に施策を行っている。	
事業実施上の課題・残された課題		指標の改善と事業目的の改善のためには、より多くの市民の健康意識を向上させる必要があり、さまざまな手段を用いた周知啓発を行う必要がある。	
今後の取組方針	拡大	判断理由	
		R6年度に策定した第3期健康いこま21、第4期生駒市食育推進計画に記載された取組を具体化し、健康寿命の延伸のために効果的な事業を継続的に実施する必要がある。	

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報		担 当 課		スポーツ振興課						
事業名	No.2	総合公園体育施設リニューアル事業								
事業区分	継続	会計区分	一般会計	予算費目	款	8	項	5	目	2
施策体系	7	健康づくり・医療			戦略的施策	☐	行政改革大綱		(3)	
根拠法令等	スポーツ基本法、第2期生駒市スポーツ推進計画						事務区分	自治事務		
事業期間	☐ 単年度(年度) ☐ 単年度繰返(年度～継続) ☒ 複数年(R7 年度～ 年度)									

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	スポーツ施設等の統廃合による維持管理経費などの将来負担の軽減 ・昨今国内で頻繁に発生している大規模災害に対応できる市内最大級の防災拠点の整備 ・市民一人一人のライフスタイルとライフステージに寄り添うスポーツ環境の整備やユニバーサルデザインの導入によるパラスポーツの推進	
事業概要(全体計画)	令和6年度実施のスポーツ施設整備等に伴う調査の結果から、総合公園内の他のスポーツ施設及び周辺施設の整備に向け、総合公園体育施設リニューアルに係る基本構想を策定し、基本計画の策定に着手する。	
決算年度の取組	事業の対象	総合公園体育施設 (対象数: 1)
	取組計画	▶総合公園体育施設リニューアルに伴う基本構想策定 ▶総合公園体育施設リニューアルに伴う基本計画策定業務委託【債務負担行為】 10,846千円 ▶総合公園体育施設リニューアルに伴う関係団体等意見聴取会議【R7補正(繰越)】 ▶生駒市総合公園体育施設測量業務 21,791千円
	取組実績(見込)	▶総合公園体育施設リニューアルに伴う基本構想策定 ▶総合公園体育施設リニューアルに伴う基本計画策定業務委託【債務負担行為】 10,285千円 ▶総合公園体育施設リニューアルに伴う関係団体等意見聴取会議
事業実施手法	☒ 直接実施 ☐ 委託・指定管理 ☐ 負担金・補助金 ☒ その他 ()	

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	0	32,637	10,285	174,176
12委託料		32,637	10,285	174,176
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金				
その他				
財源(千円)	0	32,637	10,285	174,176
特定財源				100,000
市債				
その他				
一般財源		32,637	10,285	74,176

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)	・スポーツ施設等の統廃合による維持管理経費などの将来負担の軽減 ・昨今国内で頻繁に発生している大規模災害に対応できる市内最大級の防災拠点の整備 ・市民一人ひとりのライフスタイルとライフステージに寄り添うスポーツ環境の整備やユニバーサルデザインの導入によるパラ	
KPI	指標1	指標2
指標名(単位)		
目標値		
実績値		
目標値と実績値の差分についての理由		
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)		
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由
	D	プロポーザル方式による随意契約で事業者を選定し、契約した結果、予算金額とそれほど変わらなかった。
目的思考 (施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由
	B	関係部署の書類も提供したうえで事業者と協議を重ねて行うことにより、齟齬が生じないよう努めた。
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由
	—	事業を進めるうえで、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めたが、多様な主体との協創を取り入れることができるかは課題である。
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由
	—	事業を進めるうえで、デジタル技術の活用等は行っていないが、業務効率化のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。
総合評価	評価	評価した根拠・理由
	C	令和7年度中に実施した業務は遅滞なく遂行することができましたが、本業務が令和8年6月末まで継続のため、引き続き協議しながら進めていく。
事業実施上の課題・残された課題	令和6年度に実施した調査の結果、総合公園体育館は、劣化状況評価が他の市内体育館と比べ健全度が著しく低く、災害時の避難施設でもあることから大規模な改修や修繕が必要となることが判明した。	
今後の取組方針	現状維持	判断理由
		基本計画策定後、建設に向けて、地質調査及び測量業務を実施したうえで基本設計・実施設計を進めていく。

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報				担 当 課 スポーツ振興課						
事業名	No.3		市内体育施設整備事業							
事業区分	継続	会計区分	一般会計	予算費目	款	8	項	5	目	2
施策体系	7	健康づくり・医療			戦略的施策	☐	行政改革大綱		(3)	
根拠法令等	スポーツ基本法、第2期生駒市スポーツ推進計画						事務区分	自治事務		
事業期間	☐ 単年度(年度) ☐ 単年度繰返(年度～継続) ☒ 複数年(R7 年度～ 年度)									

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	施設の整備を計画的に行い、今後の方向性を定めることで、整備に係るトータルコストの縮減等を図るとともに施設をより長く安全に使用することができる。	
事業概要(全体計画)	誰もが安心・安全に利用できる施設とするため、トイレの洋式化を進めるとともに、老朽化が進む市内体育施設を適切に維持管理し、施設利用者の安心と安全を確保する。また、各スポーツ施設の整備が必要となる時期や内容、長寿命化を含む経費を明らかにし、今後の市スポーツ施設の全体的なあり方を検討するため、スポーツ施設整備等に伴う調査業務を実施、調査結果を基に、各種整備工事を実施する。	
	事業の対象	体育施設 (対象数: 7)
決算年度の取組	取組計画	取組実績(見込)
	▶ 生駒北スポーツセンタートイレ改修設計 4,864千円、工事 11,825千円 ▶ むかいやま公園体育施設トイレ改修設計 2,206千円、工事 13,140千円 ▶ 井出山体育施設テニスコート修繕工事 3,553千円【R6補正(繰越分)】 ▶ むかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事 25,917千円【R7補正(繰越)】 ▶ 生駒北スポーツセンタートイレ改修工事 (20,823千円繰越) ▶ むかいやま公園体育施設トイレ改修工事 (25,960千円繰越)	▶ 生駒北スポーツセンター及びむかいやま公園体育施設トイレ改修設計委託 3,583千円 ▶ 井出山体育施設テニスコート修繕工事 2,530千円【R6補正(繰越分)】 ▶ むかいやま体育館 非構造部材及び照明LED改修工事 18,506千円
	事業実施手法	☒ 直接実施 ☐ 委託・指定管理 ☐ 負担金・補助金 ☐ その他 ()

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	68,321	108,288	24,619	10,505
12委託料		7,070	3,583	
14工事請負費	68,321	101,218	21,036	10,505
18負担金補助及び交付金				
その他				
財源(千円)	68,321	108,288	24,619	10,505
特定財源	38,730	8,639	6,153	
市債	27,600	72,160	15,800	
その他				
一般財源	1,991	27,489	2,666	10,505

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)																
KPI	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>指標1</th> <th>指標2</th> </tr> <tr> <td>指標名(単位)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値と実績値の差分についての理由</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		指標1	指標2	指標名(単位)			目標値			実績値			目標値と実績値の差分についての理由		
	指標1	指標2														
指標名(単位)																
目標値																
実績値																
目標値と実績値の差分についての理由																
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)																
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>評価した根拠・理由</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td>随意契約になるものについては見積合わせを、それ以外は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。</td> </tr> </table>	評価	評価した根拠・理由	B	随意契約になるものについては見積合わせを、それ以外は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。											
評価	評価した根拠・理由															
B	随意契約になるものについては見積合わせを、それ以外は入札による執行で、予算額より費用を抑えることができた。															
目的思考 (施策目標への寄与)	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>評価した根拠・理由</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>事業を進めるうえで、実施時期等を施設をはじめ関係部署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。</td> </tr> </table>	評価	評価した根拠・理由	A	事業を進めるうえで、実施時期等を施設をはじめ関係部署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。											
評価	評価した根拠・理由															
A	事業を進めるうえで、実施時期等を施設をはじめ関係部署と協議を重ねて行い、齟齬が生じないよう務めた。															
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>評価した根拠・理由</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>事業を進めるうえで、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めたが、多様な主体との協創を取り入れることができるかは課題である。</td> </tr> </table>	評価	評価した根拠・理由	—	事業を進めるうえで、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めたが、多様な主体との協創を取り入れることができるかは課題である。											
評価	評価した根拠・理由															
—	事業を進めるうえで、施設の管理運営を行う指定管理者等との協議を進めたが、多様な主体との協創を取り入れることができるかは課題である。															
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>評価した根拠・理由</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>事業を進めるうえで、デジタル技術の活用等は行っていないが、業務効率化のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。</td> </tr> </table>	評価	評価した根拠・理由	—	事業を進めるうえで、デジタル技術の活用等は行っていないが、業務効率化のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。											
評価	評価した根拠・理由															
—	事業を進めるうえで、デジタル技術の活用等は行っていないが、業務効率化のため、今後いずれかの段階で取り入れることができるかどうか検討していく。															
総合評価	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>評価した根拠・理由</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td>殆どの事業については、予定通り今年度内に事業完了し、一部の事業においても繰越等で工期延長し、対応していくことで、予算計上した事業は着実に進めることができた。</td> </tr> </table>	評価	評価した根拠・理由	B	殆どの事業については、予定通り今年度内に事業完了し、一部の事業においても繰越等で工期延長し、対応していくことで、予算計上した事業は着実に進めることができた。											
評価	評価した根拠・理由															
B	殆どの事業については、予定通り今年度内に事業完了し、一部の事業においても繰越等で工期延長し、対応していくことで、予算計上した事業は着実に進めることができた。															
事業実施上の課題・残された課題	予算化した以外のことでの予期せぬ修繕等が多く、利用者の方に影響を少なくするため、今後予防的保全の観点からも進めていく必要が急務である。															
今後の取組方針	<table border="1"> <tr> <th>現状維持</th> <th>判断理由</th> </tr> <tr> <td></td> <td>今後も指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行っていく。</td> </tr> </table>	現状維持	判断理由		今後も指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行っていく。											
現状維持	判断理由															
	今後も指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行っていく。															

令和7年度アクションプラン 事業評価シート【行政改革推進委員会審査用】

1 基本情報

1 基本情報				担 当 課 国保医療課								
事 業 名	No.6		医療費の抑制									
事 業 区 分	継続	会 計 区 分	特別会計	予 算 費 目	款	5	項	1	目	1		
施 策 体 系	7	健康づくり・医療				戦 略 的 施 策	☐	行 政 改 革 大 綱		(1)		
根 拠 法 令 等	高齢者の医療の確保に関する法律第19条 国民健康保険法第82条第1項							事 務 区 分	自治事務			
事 業 期 間	☐ 単年度(年度) ☒ 単年度繰返(H20 年度～継続) ☐ 複数年度(年度～ 年度)											

2 事業の概要・実施内容

事業目的・事業実施効果	自分自身の健康に対する関心を深め意識することで、適正受診等につなぎ、年々増え続けている一人当たりの医療費を抑制することができる。		
事業概要 (全体計画)	医療費を抑制することで、国民健康保険制度が安定的に運営され、誰もが安心して医療を受けることができるようにする。		
	事業の対象	国民健康保険被保険者 (対象数: 約16,000人)	
決算年度の 取組	取組計画		取組実績(見込)
	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) ○特定健康診査・特定保健指導 人件費 18,586千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 2,243千円 役務費(通信運搬費)4,434千円 委託料 83,304千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)1,839千円 負担金 3,142千円		医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の発送(国保連合会) ○特定健康診査・特定保健指導 人件費 18,586千円 需用費(消耗品費・印刷製本費) 1,261千円 役務費(通信運搬費)2,041千円 委託料 75,234千円 使用料及び賃借料(施設・システム使用料)1,508千円 負担金 2,899千円
	事業実施手法	☐ 直接実施 ☒ 委託・指定管理 ☒ 負担金・補助金 ☐ その他 ()	

3 事業費・財源内訳

	R6決算	R7予算現額	R7決算(見込)	R8予算
事業費(千円)	75,961	113,548	101,529	110,810
12委託料	58,124	83,304	75,234	79,716
14工事請負費				
18負担金補助及び交付金	3,075	3,142	2,899	2,962
その他	14,762	27,102	23,396	28,132
財源(千円)	75,961	113,548	101,529	110,810
特定財源	63,460	48,365	48,365	48,778
市債				
その他				
一般財源	12,501	65,183	53,164	62,032

4 事業の成果・評価

「めざす状態」実現に寄与したこと(事業の成果)		令和5年度から健診受診料を無償化したことや様々な受診勧奨で、受診傾向の高い高齢世代が後期高齢へ移行している状況でも、僅かではあるが受診率の増傾向を維持している。	
KPI		指標1	指標2
	指標名(単位)	特定健康診査受診率	
	目標値	41%	
	実績値	27%(R8.2月末時点把握分)	
	目標値と実績値の差分についての理由	受診期間は2月末までだが、結果が市に届くまでは最短でも2ヶ月かかるため。	
行革評価(行政改革大綱に基づく評価)			
コスト意識 (費用対効果・財源確保)	評価	評価した根拠・理由	
	B	全対象者に通知を送り、必要な受診勧奨も行った。また交付金申請も適正に行った。	
目的思考 (施策目標への寄与)	評価	評価した根拠・理由	
	B	国保連合会と連携しながら、勧奨対象者の抽出や受診継続意欲を促す対策を実施した。	
多様な主体との協創 (市民等への意見把握・民間活力等の活用)	評価	評価した根拠・理由	
	B	医師会等との連携により、医療機関における受診勧奨も実施した。	
デジタル・データ活用 (デジタルの活用・EBPM)	評価	評価した根拠・理由	
	B	これまでの受診履歴や健診結果データを活用し、受診意欲を上げるための対策を実施した。	
総合評価	評価	評価した根拠・理由	
	B	対象者を適切に抽出し、様々な受診勧奨を実施し、適正な交付金申請も行った。	
事業実施上の課題・残された課題		受診料無償化や受診勧奨に努めているが、若年層の受診率が横ばいで中々伸びない。	
今後の取組方針	現状維持	判断理由	
		特定健康診査の対象者年齢が40歳から74歳と限定されており、対象拡大の予定が無いため。	